

「人生の大転換期」

1. 7月3日は創業19周年の記念日

私の関係では7月に誕生日が多いです。まず、3日は亡き妻の誕生日であり、会社の創業記念日でもあります。会社はお蔭様で19周年を迎えました。右掲は、中小企業庁のデータから算出された企業の経年別残存率であります。これに基づくと、最初の10年と次の10年は約半分が減り、その後は10年間で4割が消えて、90年では僅か1.1%しか残らないという結果になっています。

会社の寿命
10年続く企業は51.6%、
20年続く企業は27.5%、
30年続く企業は17.6%、
40年続く企業は10.6%、
50年続く企業は6.8%、
60年続く企業は4.4%、
90年続く企業は1.1%となる。

新潟県中小企業家同友会のWeb記事より
niigata.doyu.jp/info/?p=1076

弊社は、まだ19年ですが、お蔭様で何とか経営を維持しておりますが、これからも事業を継承して行く必要があります。その為には、経営革新が大きな課題なのですが、お蔭様で三男が入社して、システム事業を目指して新しい分野を切り拓く覚悟で精進しています。平成24年には「経営革新計画」の承認を受けて順調とは言えないまでも商品づくりに励んでおります。次の10年の大きな柱になると期待しています。その間に「事業継承」が出来れば有難いと思っています。

2. 11日は満65才

とは言うものの11日に私は満65才の誕生日を迎えます。お蔭様で比較的元気な状態で生活できています。年金という面でも基礎年金、報酬比例部分、年金基金と3点セットの年金を頂けるようになります。残念なのは、約23年間のサラリーマン時代の年金基金が解散しており、報酬比例部分がこの期間半額であり、基金で頂くものも解散しているのでほんの僅かな金額になっている点であります。「過去」を変える訳にはいかないのですが、やっぱり、現実に年金を受け取る段になってみると年金が多い方が嬉しいのは当然であります。

しかし、独立して19年間、経営コンサルタント事業を行って来て、よいお客様に恵まれて、健康に過ごしている点に大いに感謝しています。亡き妻が教師をしていて「私が元気な内に事業を立ち上げて」と応援してくれたお蔭です。まあ、お金の面では家計に毎月入れることができましたし、子供たちも3人も成人し、上の2人は結婚して子供も出来ているという「幸せ」な環境でいます。会社からの収入もあるので、年金で不足している部分を補っています。

さらに、全てのローンが完済しています。自宅のマンション、事務所に行っているマンション、クルマなど大きなものは完済しており、維持費だけです。2つのマンションは駐車場を含めて月額4万円の管理費で済む状況です。大きな物が完済している状況は非常に楽です。ここから、

生活安定の尺度(オーラ) = 「資産」x「貯蓄」x「収入」

と公式化しました。すなわち、企業会計でいう内部留保と毎日の収入ということです。売るとなれば、大した金額ではないでしょうが2つのマンションがあり、それを賃貸で借りているとすると約20万円位にはなるのですが、それが毎月、管理費約4万円で済むという有難さです。

このように、「資産」と「収入」という面では恵まれている環境です。残るは「貯蓄」という点です。個人的な借金は完済したのですが、会社としての借金は若干残っています。小さな会社ですから、個人商店的な要素が濃いので、会社の借金はイコール個人の借金と考えて、税理士の先生とも相談しながら、いつか事業継承の際には借金ゼロの状態にしておきたいと考えて、毎年、少しずつ計画的に進めています。個人の貯蓄は、やっと完済した段階なので微々たる状態ですが、毎日の費用を切り詰めておりますので、少しずつ貯蓄ができてつあります。目標は、老後に必要な貯蓄額は3千万円と言われておりますので、健康に過ごしながら、少しでも目標に近づけたいと思っています。

3. 人生の大転換期

このように、私はある意味で恵まれた状況で生活していますが、「寄る年波」という言葉があるように「老い」という現実から避けられません。右掲は厚生労働省が出している平均余命表です。それによると65才で、男子は18.89年という事です。まあ、84才くらいが平均ということのようです。

以前から「百歳現役」ということで、いろいろと楽しいプランを考えていたのですが、妻が本年1月に急死したので大きく前提条件が変わってきたのです。この重たい事実を踏まえて方針転換を図ることになりました。

前述のように、資産x貯蓄x収入という基本公式で、内部留保にあたる資産x貯蓄はある程度確保できているのですが、収入という面では、妻の年金部分が無くなったので、その分、少なくなっています。2人の年金収入があれば、比較的恵まれた収入になるので、仕事へのウェイトを減らして夫婦の時間を多くしようと考えていたのですが、まさかの事態が起こって、それが叶わなくなったのです。

従って、65才になって「第2の人生」の設計図を少し変更する必要があります。まず、第1に変わることは「一人で生きる」という点です。今は、三男が同居していますので、その分、楽していますが、いずれ結婚して独立すると思いますので、日常の細々とした事柄をマメに片づけるようにならねばならないのです。生活習慣と言いますが、掃除は掃除機があり、物は断捨離で日頃から整理整頓を心がけようと思っています。また、洗濯は全自動のものがありますので洗剤投入すればスイッチを押すだけですが、ごはんやおかずという食事は自炊の経験がないので、今後の大きな課題です。皆さんにとっては「些細な問題」かも知れませんが、未体験の者にとっては非常に大きな物なのです。お蔭様で、近所に食料品を売るスーパーや食堂などもあるので、よく考えて行えば生活が乱れるという心配はないように思います。

残るは、一番重要な「健康」です。お蔭様で過去2年間、ウォーキング・ダイエットを続けてきたので、体型的にも見やすい状態になり、ご近所の方々からも「スリムになったね」と声をかけて頂けるようになりました。このウォーキングは、生活習慣の一つになっているので継続したいと思っていますし、最近では、マッスル・シューズという片足1.4kgの靴を履いてウォーキングして負荷をかけるようにしています。お蔭様で健康診断の数値は大きく改善しました。あとはBMI=25(75Kg)を切り、理想形のBMI=22(67Kg)を目指したいと思っています。

4. 「楽しむ」について

ある方がFacebookに「楽しい事をしていても楽しいとは限らない。楽しそうにやれば自ずから楽しくなってくる」と書いておられましたが、まさに、その通りと思います。私は、お蔭様で終身、仕事できる環境でいます。いずれ3男に事業継承しても、経営コンサルタントという職業柄、ますます、自分の値打ちが出ると確信しています。基本の資産x貯蓄x収入は安定していますので、それこそ、お金への執着心がなくても「人のために」という大義名分で働けます。

「楽しそうに」は「人のためにあれこれと考える事」というのも一面の事実なので、お客様の為に「あれこれ」と惜しみなくやって行きたいと思っています。北島三郎の「人道」ではないですが「今まで受けた数多くのご恩を世間に返していく」という覚悟で気楽に動いて行きたいと思っています。そして、多くのお客様に感謝して頂けるように心がけたいと思っています。

表1 主な年齢の平均余命 (単位: 年)

年齢	男			女		
	平成24年	平成23年	前年との差	平成24年	平成23年	前年との差
0歳	79.94	79.44	0.50	86.41	85.90	0.51
5	75.19	74.71	0.48	81.67	81.19	0.48
10	70.23	69.77	0.46	76.70	76.24	0.46
15	65.26	64.81	0.45	71.72	71.28	0.44
20	60.36	59.93	0.43	66.78	66.35	0.43
25	55.52	55.10	0.42	61.85	61.45	0.40
30	50.69	50.23	0.41	56.94	56.56	0.38
35	45.85	45.47	0.38	52.04	51.69	0.35
40	41.05	40.69	0.36	47.17	46.84	0.33
45	36.32	35.98	0.34	42.35	42.05	0.30
50	31.70	31.39	0.31	37.59	37.32	0.27
55	27.23	26.95	0.28	32.92	32.66	0.24
60	22.93	22.70	0.23	28.33	28.12	0.21
65	18.89	18.69	0.20	23.82	23.66	0.16
70	15.11	14.93	0.18	19.45	19.31	0.14
75	11.57	11.43	0.14	15.27	15.16	0.11
80	8.48	8.39	0.09	11.43	11.36	0.07
85	6.00	5.96	0.04	8.10	8.07	0.03
90	4.16	4.14	0.02	5.47	5.46	0.01

厚生労働省平成24年版